

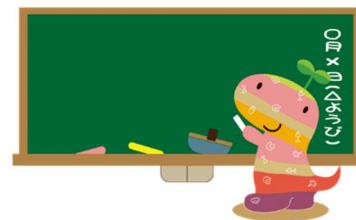
春日地域市立小学校 統合検討委員会だより

令和7年12月22日 Vol.1

発行：春日地域市立小学校統合検討委員会
(事務局：丹波市教育委員会教育総務課)
TEL 70-0810 / FAX 70-0814

船城地区自治会長会からの要望を受けて、春日地域の小学校の統合を検討するために春日地域市立小学校統合検討委員会が設けられました。

春日地域各小学校区の自治会代表者や各小学校の保護者代表者、認定こども園の保護者代表者が委員となり、春日地域の小学校の統合について検討していますので、その概要をお知らせします。



【現在の協議経過（概要）】

○検討委員会のメンバー

- ・各小学校区の自治会代表者10名、各小学校の保護者代表者10名、認定こども園の保護者代表者5名の合計25名、その他に識見者として、学校長の代表や過去の市内の学校統合に関わった者が参加、丹波市教育委員会が事務局を担っています。

【春日地域市立小学校について】

○第1回検討委員会の概要（令和7年7月28日）

- ・委員の互選により、委員長は山川茂則氏（黒井地区自治会長会会長）、副委員長は植木和也氏（進修小学校保護者代表）に決定しました。
- ・丹波市の人口推移や小学生数の推移状況、船城地区における検討経過の概要等について、事務局より説明がありました。

【委員の意見（要旨）】

- ・市島の時の例などを参考に今後のスケジュールを決めたら。
- ・急ぐことも大事だが、じっくり考える話ではないか。
- ・船城小学校と黒井小学校の統合を検討しつつ、春日地域全体の小学校の在り方も考えていくべきではないか。 など

○第2回検討委員会の概要（令和7年8月28日）

- ・青垣地域市立小学校や市島地域市立小学校の統合経過の概要、区域外就学制度等について事務局より説明がありました。
- ・船城小学校の統合検討と春日地域市立小学校全体の考え方について、委員で意見交換しました。

【委員の意見（要旨）】

- ・市島地域の統合準備委員会のように会議状況をまとめたものを発行してほしい。

- ・船城小学校と黒井小学校の統合検討について、地域部会(仮)を設置し、そこで協議した方向性をもって全体の検討委員会で決定してはどうか。
- ・船城地区と黒井地区の地域部会(仮)も動きながら、一方で、春日地域の小学校の将来像を検討委員会全体で見いだしたい。
- ・春日地域の小学校の将来像について、継続して協議しながら勉強し、いろんな人の意見も聴いて進めていきたい。 など

【決定事項】

- ・春日地域の小学校全体の在り方について、検討委員会全体で今後も継続協議する。
- ・船城小学校と黒井小学校の統合検討について、船城地区と黒井地区で地域部会(仮)を設置し協議する。

○第3回検討委員会の概要(令和7年11月18日)

- ・「今後の春日地域市立小学校の在り方」をテーマに、5つのグループに分かれて委員で意見交換しました。

【グループの意見】

- ・春日地域で将来的に1校ということを考えていくべきではないか。
- ・認定こども園単位で考えてみるのはどうか。
- ・統合しても地域の特色が学べる教育をしてほしい。
- ・こどもを中心に考えていくべき。
- ・春日地域で1校、小中一貫教育がよいのでは。 など



【船城小学校と黒井小学校の統合検討について】

船城小学校と黒井小学校の統合検討について、地域部会で協議を行います。会議には、統合検討委員会の船城地区の委員と黒井地区の委員が参加しています(自治会代表者4名、小学校の保護者代表者4名、認定こども園の保護者代表者2名)。

○第1回黒井・船城地域部会の概要(令和7年10月17日)

- ・委員の互選により、部会長は山川茂則氏(黒井地区自治会長会会長)、副部会長は山田吉晴氏(船城地区自治会長会会長)に決定しました。
- ・船城小学校と黒井小学校の小学生数の推移、学校の小規模化に伴うメリット・デメリット(文部科学省資料)について、事務局より説明がありました。
- ・船城小学校と黒井小学校の統合検討について、委員で意見交換しました。

【委員の意見(要旨)】

- ・地域部会のメンバーを増やすべきではないか。
- ・今の検討委員会の委員で協議し必要に応じてメンバーの追加を検討すべきではないか。
- ・いかに早くどのように情報発信していくかを考えていきたい。
- ・こどものために小学校の教育がどうあるべきかということを中心に考えたい。 など

会議資料や会議録など詳細な内容は丹波市ホームページに掲載しています。
検討委員会だよりに関するお問い合わせは事務局(教育総務課TEL70-0810)まで



ホームページはここから